

資料編

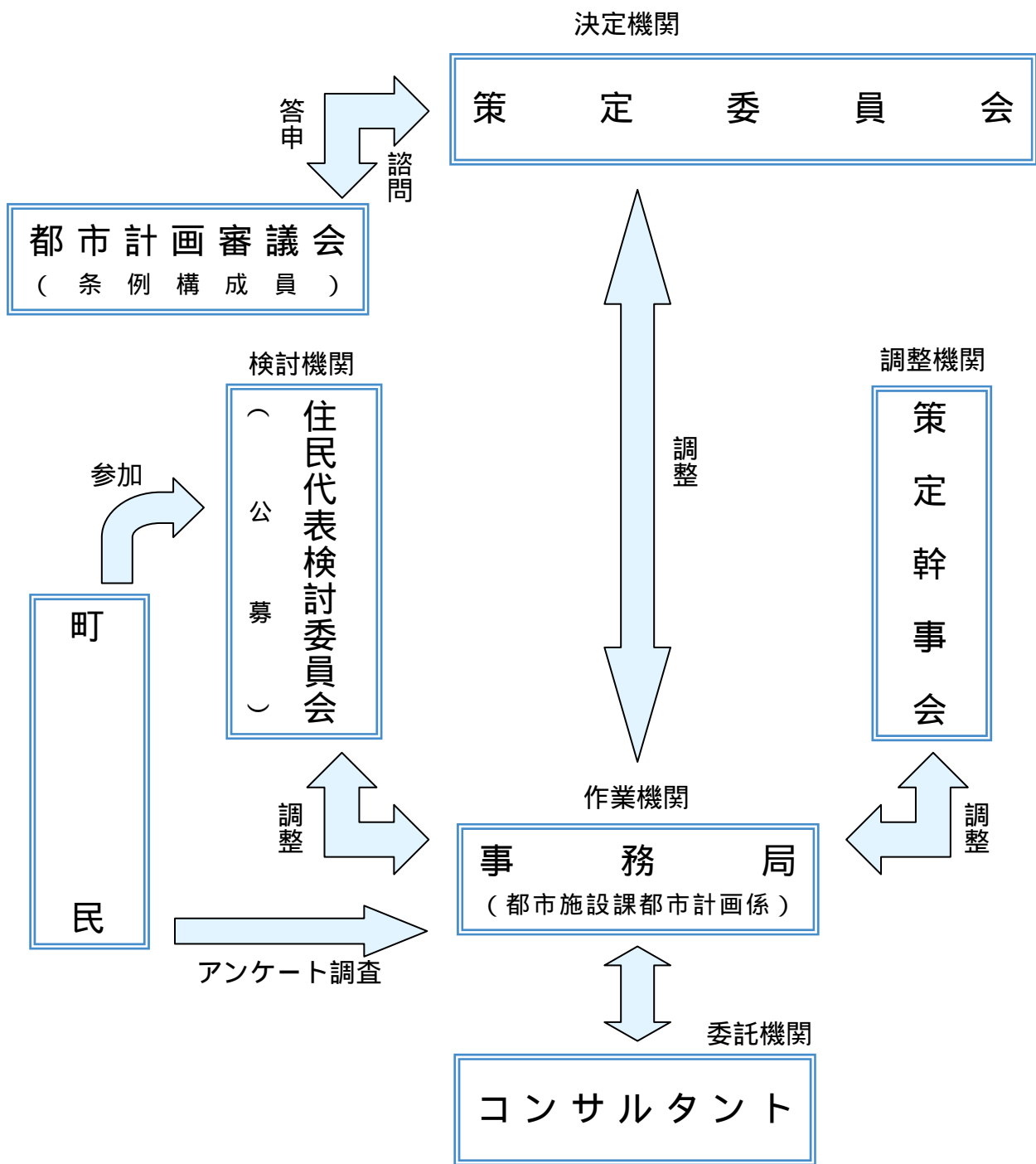
策定の組織図

委員会名簿

都市計画マスタープラン住民アンケート集計結果

都市計画審議会諮問答申書

策定の組織図



厚真町都市計画審議会名簿

職	氏名
会長	森本 壽夫
副会長	市原 泰雄
委員	浅野 勝善
委員	穴田 健
委員	石井 一義
委員	岡部 純
委員	小納谷 誠司
委員	小納谷 守
委員	馬場 英一
委員	吉岡 俊一
委員	海沼 裕作
委員	木村 幸一

策定委員会名簿

職	氏名
町長	藤原 正幸
助役	畑嶋 征二
収入役	石山 誠一郎
教育長	幅田 敏夫
総務民生部長	山田 政紀
企画調整部長	馬場 和弘
経済部長	前田 正行
建設部長	上田 俊行
総務民生部次長	大杉 昭
総務民生部次長	古川 元三
総務課長	兵頭 利彦
町民課長	中田 敏文
保健福祉課長	清水 俊宣
保健福祉課参事	加藤 恒光
上厚真支所長	齋藤 晃
企業誘致課長	加賀谷 幸廣
農業振興課長	佐々木 弘
商工経済課長	三好 修
大規模開発推進室参事	遠藤 賢一
大規模開発推進室参事	当田 昭則
交流促進センター運営管理室参事	宮澤 正明
農業委員会事務局長	本多 範行
学校管理課長	紺屋 勝美
生涯学習課長	長橋 政徳
都市施設課長	西尾 茂

住民代表検討委員会名簿

職	氏名
委員長	阿蘇 孝司
副委員長	市丸 弘幸
委員	加勢 勉
委員	河口 富士雄
委員	久保 康子
委員	小納谷 道子
委員	斉藤 博美
委員	下司 義之
委員	藤井 隆之
委員	松田 好子

策定幹事会名簿

職	氏名
総務民生部 総務課 管財防災係長	遠藤 義浩
総務民生部 財政税務課 課長補佐	宮坂 尚市朗
総務民生部 町民課 国民年金係	佐々木 春香
総務民生部 保健福祉課 健康指導係	谷口 幸世
総務民生部 保健福祉課 介護支援係長	津田 祥子
企画調整部 企画調整課 主査	佐藤 照美
経済部 農業振興課 課長補佐	近藤 泰行
経済部 商工経済課 林務係長	斎藤 雪美
建設部 土木課 道路係長	岩田 善行
建設部 土木課 河川係長	真壁 英明
建設部 区画整理室 区画整理係長	大坪 秀幸
教育委員会 生涯学習課 生涯学習係長	木戸 達也
教育委員会 学校給食センター 学校給食係長	矢幅 敏晴
建設部 都市施設課 住宅係長	吉田 良行
建設部 都市施設課 下水道調整係長	小松 豊直
建設部 都市施設課 都市計画係長	船石 博司
建設部 都市施設課 都市計画係	海沼 奈々子

都市計画マスタープラン住民アンケート集計結果

調査の概要

実施機関

厚真町建設部都市施設課都市計画係（アンケート集計・解析をコンサルタントに委託）

調査対象

厚真町に居住する 16 歳以上の男女 509 名を、性別、年代、居住地のバランスを考慮のうえ、住民基本台帳より無作為抽出

配布・回収方法

郵送により調査票を配布、回収

回収数

回収数 171 票（回収率 33.6%）

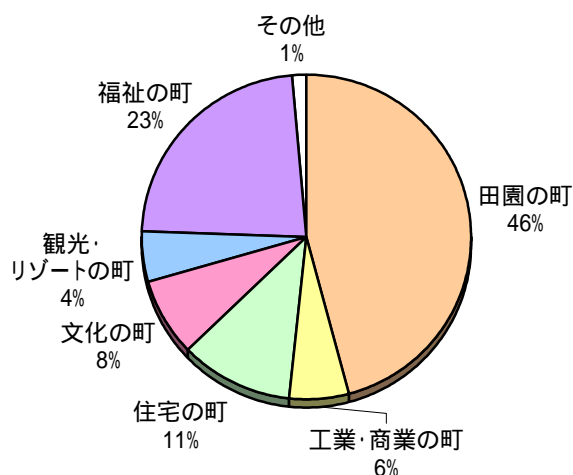
調査時期

配布日 平成 14 年 8 月 28 日

回収期日 平成 14 年 9 月 13 日

（回収期日後に郵送された票も集計の対象としている）

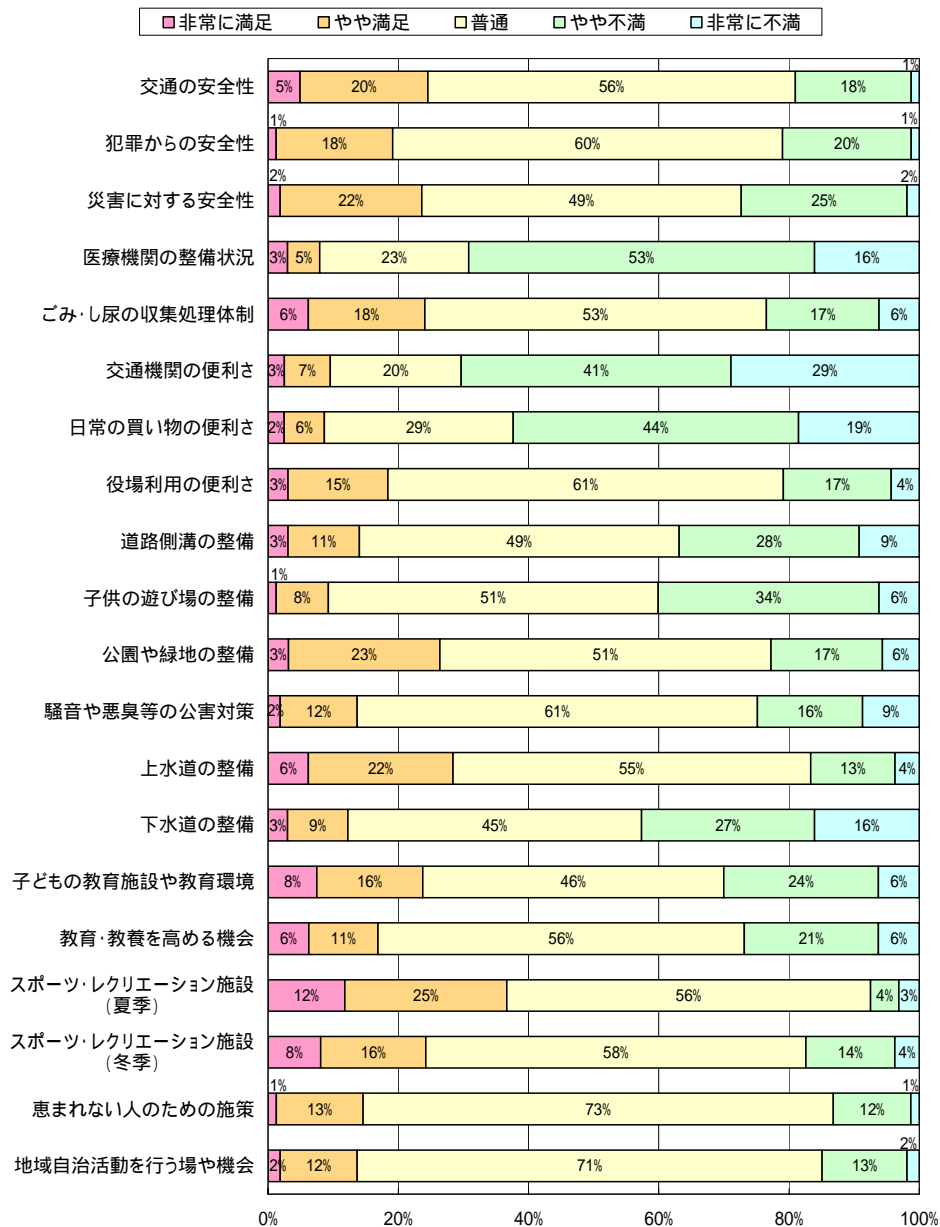
問1. 厚真町がどのようなイメージの町に発展することを望みますか。



考察

- ・ 回答のほぼ半数は「田園の町」となっている。
- ・ 一方で、「観光・リゾートの町」に対する回答は最も低い値となっている。
- ・ 平成6年に実施した「総合計画策定のための町民意識調査」の結果と比較すると、全体的にほぼ同様の傾向にあるが「福祉の町」の回答が1割程度減少している。この結果は、在宅介護サービスや生活福祉センターの整備に対する評価が高まっていることがうかがえる。
- ・ 居住地別クロス集計で考察すると、上厚真地区の居住者については「田園の町」の回答が低く、「工業・商業の町」の回答が高くなっている。これは、苫東開発を見据えたまちづくりに対する意識がうかがえる。

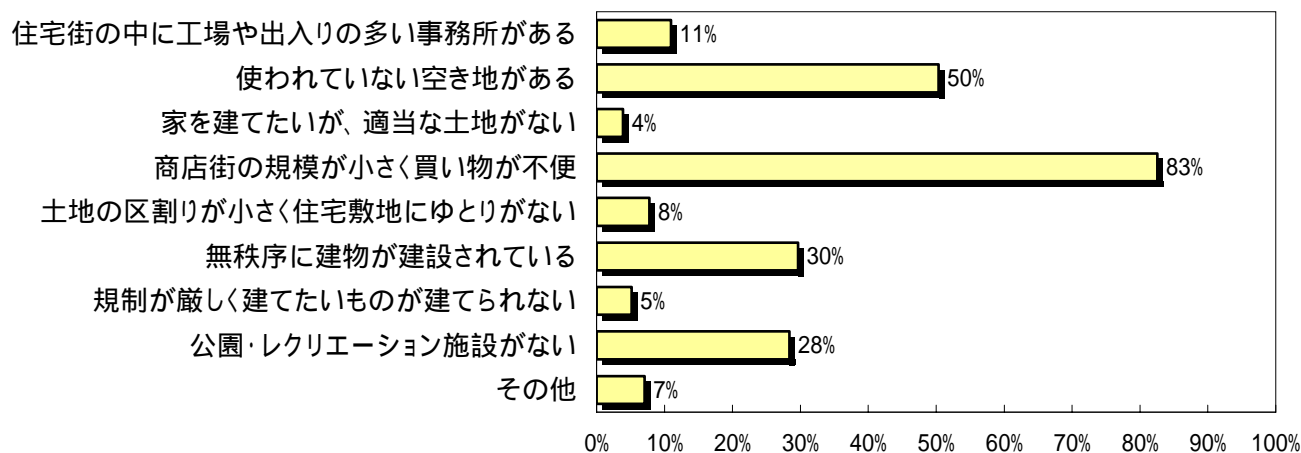
問 2 . 現状の生活環境についてどの程度満足していますか。



考察

- ・ 「医療機関の整備状況」「交通機関の便利さ」「日常の買い物の便利さ」に対して、半数以上が不満と感じている。
- ・ 「子供の遊び場の整備」については、“不満”との回答が高いのに対して、「公園や緑地の整備」について“満足”との回答が高く逆転していることから、公園整備のあり方について検討の必要性がうかがえる。

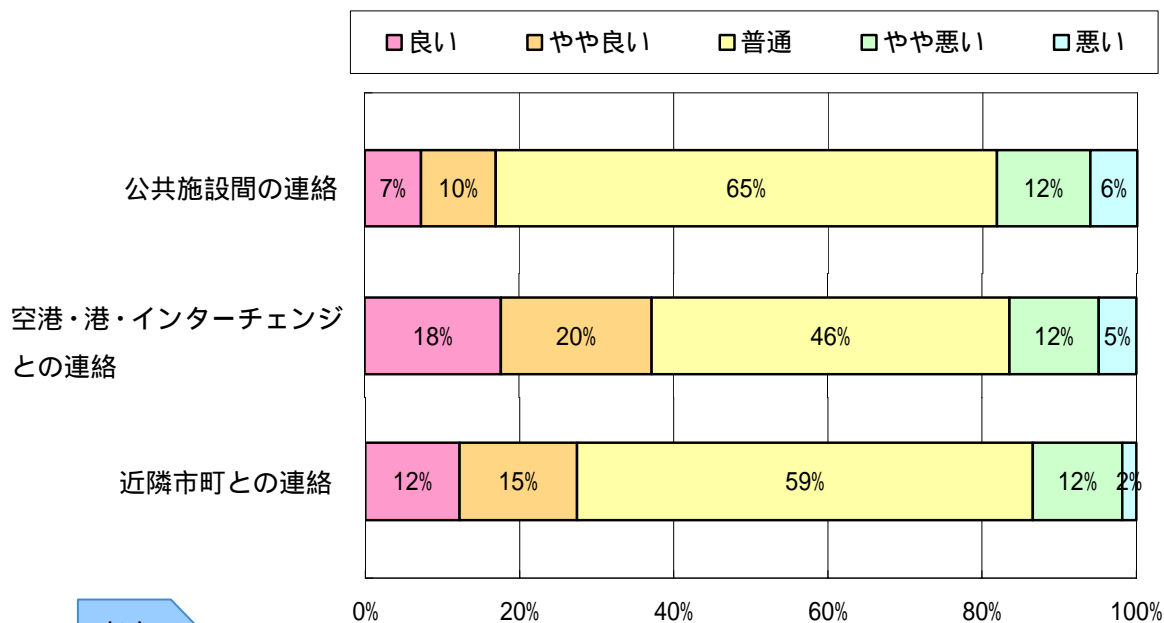
問3 . 市街地内の土地利用についてどのような問題があるとお考えですか。



考察

- ・ 「商店街の規模が小さく買い物が不便」が最も多く約8割の回答が得られており、次いで「使われていない空き地がある」は5割の回答が得られたことから、土地の有効活用に問題意識がうかがえる。
- ・ また、「使われていない空き地がある」が5割の回答に対して、「家を建てたいが、適当な土地がない」は低い回答数である。このことから、十分な土地が確保されていると推測できる。
- ・ 問2と合わせて考えると、「日常の買い物の便利さ」に対する不満の一因として、商店街規模が小さいことが影響していると推測される。
- ・ 「家を建てたいが、適当な土地がない」「土地の区割りが小さく住宅敷地にゆとりがない」「規制が厳しく建てたいものが建てられない」の土地利用に関する項目は、1割に満たない回答となっていることから、現状の都市計画法上の土地利用規制に対する問題意識はさほど感じられない。
- ・ 居住地別クロス集計で考察すると、上厚真地区の居住者については「公園・レクリエーション施設がない」が最も多い回答となっており、近隣に大きな公園や運動施設がないことに対する不満が表れていると考えられる。

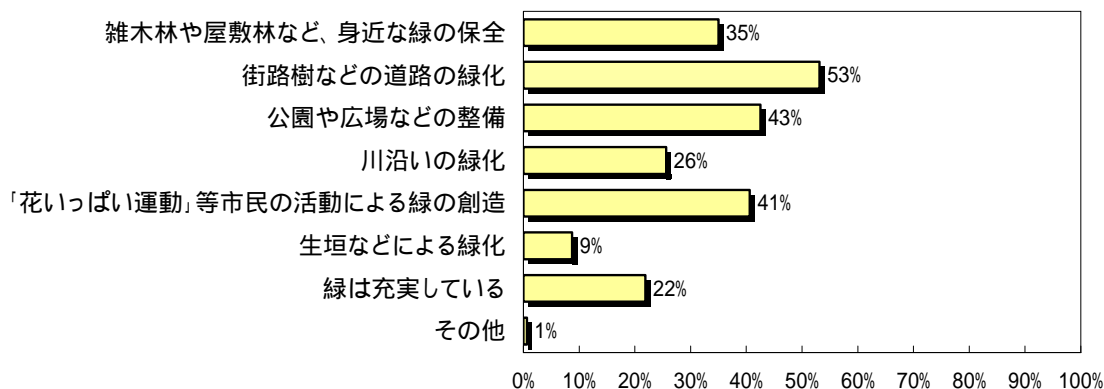
問4 . 厚真町における幹線道路網の整備状況についてどのようにお考えですか。



考察

- ・ 最も満足度が高いのは、「空港・港・インターチェンジとの連絡」で4割程度の回答が得られている。
- ・ 不満の回答割合を見ると、いずれも2割程度である。
- ・ 日常頻繁に利用する道路について、満足度が低い傾向にある。

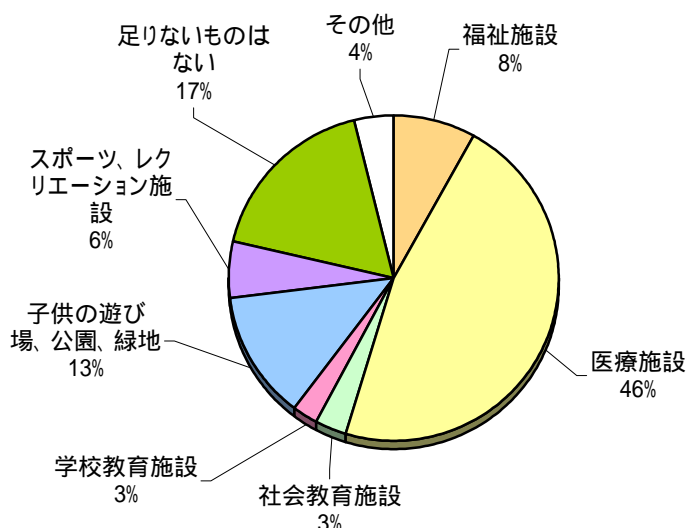
問5 . 市街地内の緑を充実していくためには、どのような取り組みが良いとお考えですか。



考察

- ・ 最も回答の多かったものは「街路樹などの道路の緑化」で、半数を超える回答が得られた。

問6 . 厚真町における公共施設の整備状況について、足りないと思う施設は何ですか。



考察

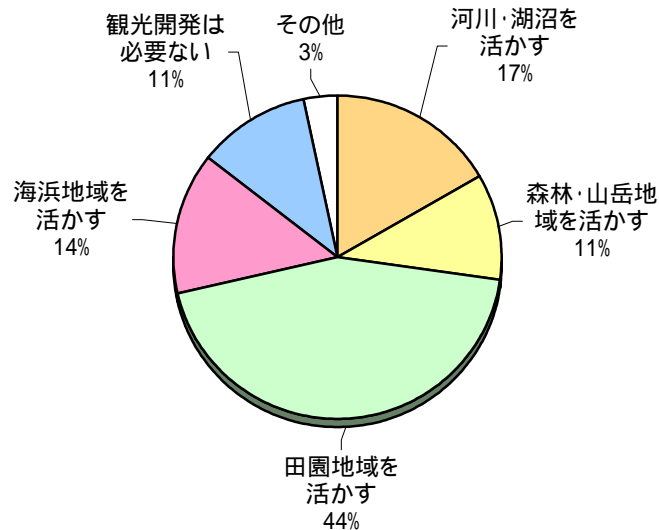
- ・ 最も回答の多かったものは「医療施設」で、約半数の人が医療施設の数不足を感じている。
- ・ 問2における「医療機関の整備状況」についての不満の傾向が強いことは、医療施設の数不足が一因であると推測される。
- ・ 居住地別クロス集計で考察すると、厚真地区の居住者については「医療施設」の回答が最も多く、半数以上の回答が得られている。

問7 . 厚真町において整理・統合が必要な公共施設等は何ですか。

考察

- ・ “上厚真、富野、軽舞、鹿沼”など、『小学校の統合』に関する意見が挙げられている。
- ・ また、『保育園』については、統合を図った上で通年での運営を求める意見が挙げられている。
- ・ 他に、「公共施設の集約配置」、「既存施設の有効利用」に関する意見も見られる。

問 8 . 厚真町における観光開発のあり方についてお聞きします。



考察

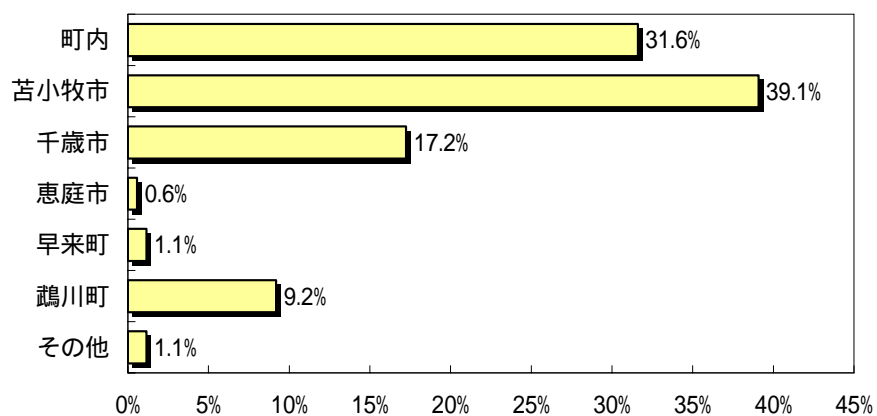
- ・ 最も多い回答は「田園地域を活かす」で、約半数の回答が得られている。
- ・ 問1において「田園の町」を望む回答が多かったことと相関が認められる。
- ・ この結果から、町民に「田園の町」ということが浸透しており、それを観光資源としての活用を望んでいると推測される。

問 9 . 厚真町内で景観的に優れている自然や街並みはどこですか。

考察

- ・ 「田園」や「自然」について多くの意見があり、次いで「街並み」や「建物」についての意見が上げられた。特に「こぶしの湯から見る田園風景」については、複数の意見があった。

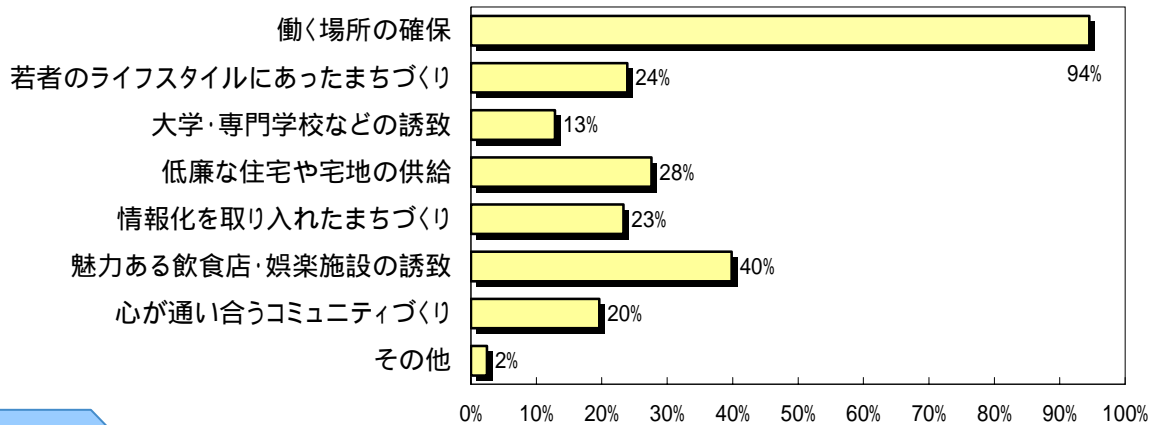
問10. 日用品は主にどこで買いますか。



考察

- ・ 最も多い回答は「苫小牧市」で約4割、次いで「町内」が約3割の回答が得られた。
- ・ 一方、「恵庭市」「早来町」の回答はわずかであった。
- ・ 居住地別クロス集計で考察すると、「町内」との回答が厚真地区の居住者については約半数の回答が得られたのに対し、上厚真地区の居住者は最も少ない回答数であり、「苫小牧市」という回答が最も多い地区は、上厚真地区の居住者で半数を超える回答が得られた。

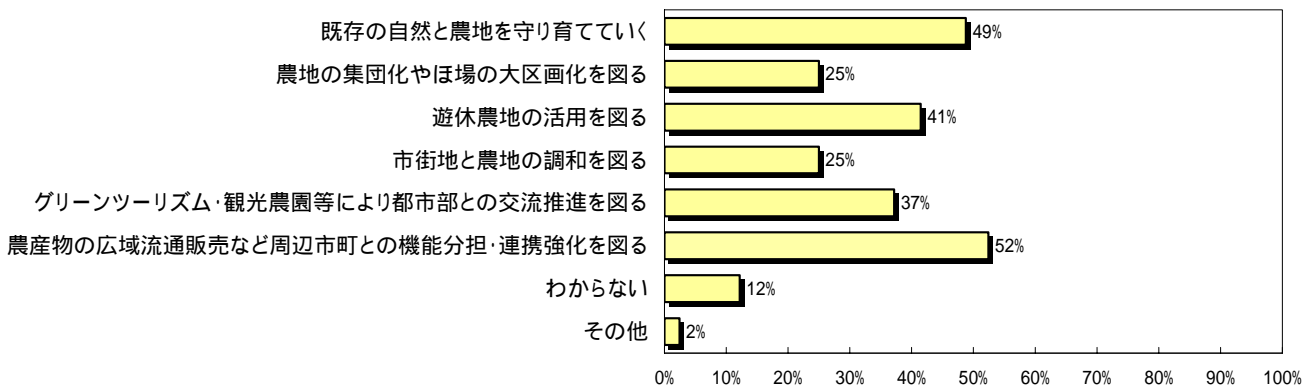
問 1 1 . 厚真町に定着、定住していくうえで必要なことはどのようにお考えですか。



考察

- ・ 「働く場所の確保」が突出しており、9割以上の回答が得られた。
- ・ 最も回答の少ないものは「大学、専門学校などの誘致」で、約1割の回答であった。

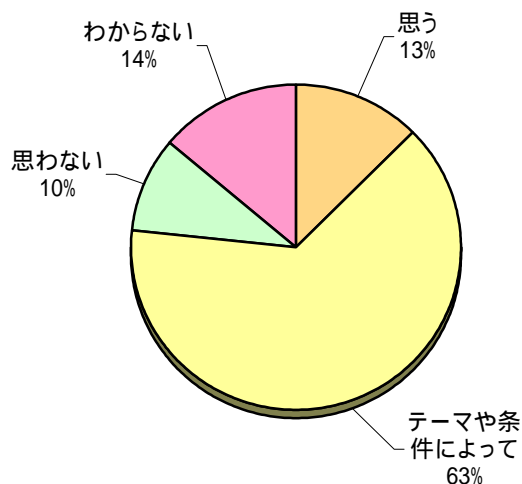
問 1 2 . 農業を軸としてまちづくりを進めていくには、どのようなことが重要だとお考えですか。



考察

- ・ 最も多い回答は「農産物の広域流通販売など周辺市町との機能分担・連携強化を図る」「既存の自然と農地を守り育てていく」で半数程度の回答が得られている。

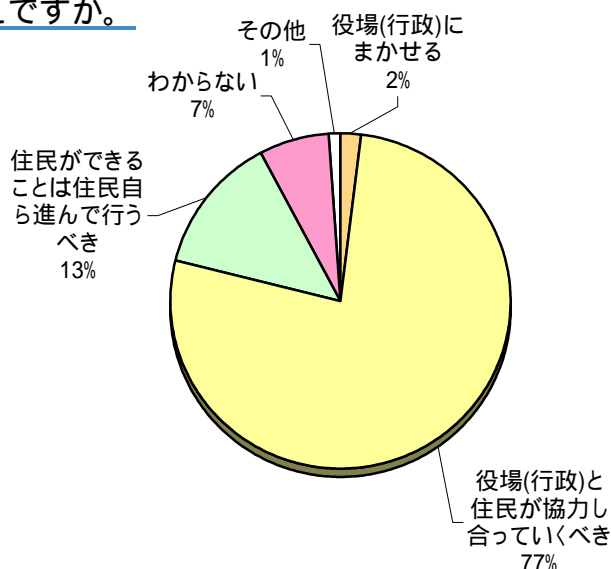
問 1 3 . まちづくりへの活動があった場合、参加したいとお考えですか。



考察

- ・ 「テーマや条件によって」が最も多く半数を超えており、次いで「思う」となっている。これら2つを合わせると、約8割の回答が得られており、まちづくりへの参加意識の高さがうかがえる。

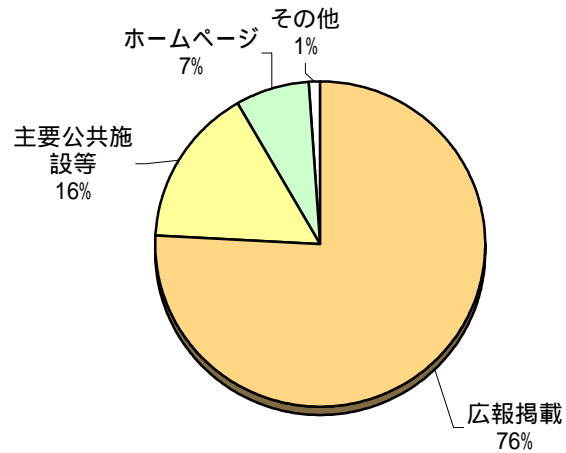
問 1 4 . まちづくりを進めていく上で、住民と行政の関わりについてどのようにお考えですか。



考察

- ・ 「役場（行政）と住民が協力し合っていくべき」が最も多く8割程度の回答が得られている。このように住民と行政が一体となってまちづくりを進めていくことが望まれていると考えられる。
- ・ 問13と合わせて考えると、町民にとって参加しやすいように、きっかけづくりが重要になってくると思われる。

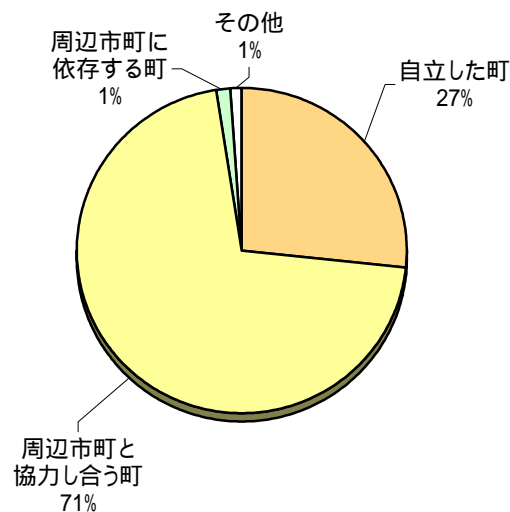
問 15 . まちづくりについての計画をどのような方法で知らせるのが望ましいと思いますか。



考察

- ・ 最も多い回答は「広報掲載」で約8割である。
- ・ 「ホームページ」との回答は1割を下回っている。

問 16 . 厚真町と周辺市町との関係のあり方についてどのようにお考えですか。



考察

- ・ 「周辺市町と協力し合う町」が最も多く7割程度であった。
- ・ 一方、「周辺市町に依存する町」の回答はわずかであった。
- ・ 以上より、周辺市町との共生が望まれていると考えられる。



都市計画審議会諮問答申書

厚 都 号
平成16年3月31日

厚真町都市計画審議会
会長 森 本 寿 夫 様

厚真町長 藤 原 正 幸

厚真町都市計画マスタープラン（案）について（諮問）

平素より厚真町都市計画の推進に対し、格別のご配慮厚くお礼申し上げます。

この度、厚真町都市計画マスタープランを策定するにあたり、別添「厚真町都市計画マスタープラン（案）」について、厚真町都市計画審議会条例第2条の規定により諮問いたします。

平成16年4月20日

厚真町長 藤原正幸様

厚真町都市計画審議会
会長 森本寿夫

厚真町都市計画マスタープラン(案)について(答申)

平成16年3月31日付け厚都号により、厚真町都市計画審議会に諮問されておりました標記の件について、下記のとおり答申いたします。

記

議案第1号「厚真町都市計画マスタープラン(案)」について当審議会において慎重に審議した結果、原案どおり支障ないものと判断する。



厚真町都市計画マスタープラン

発行 北海道厚真町

発行日 平成16年6月

ホームページアドレス

<http://www.town.atsuma.hokkaido.jp>